

時習 二月号

二月 一日

もうすぐ立春

二月は逃げる！



いよいよ二月、もうすぐ立春。春はもうすぐそこまで来ています。一月は、例年になく寒く、寒波が居座りました。雪も沢山降りしました。

インフルエンザが猛威をふるった一月でした。臨時休業（学校閉鎖）も行いました。

二月は二十八日まで、あつという間のひと月となるでしょう。よく二月は「逃げる」、三月は「去る」と言われます。これから学校

は、平成二十二年度の最終コーナーにさしかかっていきます。そして、三月十八日（金）には卒業式です。六年生の巣立ちの時です。

「夢かなえ隊支援事業」

一月三十日（日）に嬉野市公会堂にて、青森県の「ねぶた」づくりのランタンア

ーティスト三上先生の指導で燈籠づくりに挑戦をしました。

針金や蠟、塩田の鍋野和紙を使って、金魚を图案化したランタンをつくりました。十時から四時まで、じつくり時間をかけて作成しました。

三上先生は、シーボルトの湯の広場に置いてある「鬼の面の燈籠」の作成者でもあられます。小学生から中学生まで一〇〇名近く集まって指導を受け、つくりました。

子供たちは、「今度はもっと大きな燈籠をつくってみたい」といっていました。



今週から七時間授業（四週間）

臨時休業中の授業時間の確保ということで行います。午前中に五時間（四〇分授業）授業をして、午後の時間は変えずに四五分授業の二時間を行い、下校時間の変更はしません。少しハードな時間割になりますが、春休み、全校が学校に出てくるということが難しい現状から、七時間授業という対応を取りましたのでご理解とご協力をお願いします。インフルエンザは、ほかの学校では、今からがピークのようです。嬉野小学校でも、ま

だ罹患していない子どももいます。現在は、学校閉鎖の効果で、罹患者が激減し、終息しつつあります。今日現在、インフルエンザでの欠席は一名です。しかし、今後も、再び流行する可能性があります。引き続き予防対策を強化していくことが大切です。

◎手洗い（しっかり手洗いが一番効果的）

◎うがい（外から帰ったら必ず）

◎咳エチケット（登校時のマスク着用）

健康観察を引き続き、しっかりお願いします。

青少年育成弁論大会二月五日（土）

嬉野市内の小中学校の代表による、市内弁論大会が十時から開催されます。本校からは、六年生の二人が出場します。

山口諒真くん『ぼくの ひいおばあちゃん』

中山紗英さん『相棒』

文章を書くことで、自分を見つめ直し、考えを深め、それを表現するという一連の思考は、大変難しく、緊張する作業です。

本番前には、全校児童の前で練習をして本番に安心して臨めるよう『伝え方、目力、表情』そして礼儀・態度なども練習します。

嬉野小学校の代表として、これまでの先輩がしてきたように、立派に発表してくれるものと思います。

是非多くの方に応援をしていただけたらと思います。